

飛騨市教育委員会の権限に属する事務の管理及び 執行の状況の点検及び評価の結果

- 1 点検及び評価を行った期日 令和元年8月30日（金）
- 2 点検及び評価の会議を行った場所 飛騨市役所 西庁舎3階 会議室1
- 3 点検及び評価を行った会議 令和元年第7回教育委員会
- 4 点検評価委員（7名）
古川中学校学校評議員、神岡小学校学校評議員
飛騨市PTA連合会会長、同母親代表
社会教育委員長、飛騨市体育協会会長、飛騨市文化協会会長
- 5 点検及び評価を行った会議に出席した者
（飛騨市教育委員会）
教育長 沖畑 康子
委員 田口 力三
委員 平澤 千人
（説明のため出席した飛騨市教育委員会事務局職員）
事務局長 谷尻 孝之
教育総務課長 岸懸 貴則
学校教育課長 下出 尚弘
生涯学習課長 米澤 智
スポーツ振興課長 大始良 透
文化振興課長 大庭 久幸
- 6 点検及び評価の対象事務
飛騨市教育委員会の権限に属する平成30年度の事務
- 7 点検及び評価の方法
飛騨市教育委員会事務局点検評価実施要領（平成21年飛騨市教育委員会訓令第1号）
第3条の規定により、飛騨市教育委員会事務局各課が第1次評価した「飛騨市教育委員会事務局点検評価資料」により、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第2項の規定に基づく飛騨市教育委員会事務局点検評価委員会を開催し、教育に関し学識経験を有する者からの意見聴取を行った後、令和元

年第7回教育委員会において、平成30年度の飛騨市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行った。

8 飛騨市教育委員会が飛騨市教育委員会事務点検評価委員会に意見聴取を行った
期日及び場所

第1回 期日 令和元年8月7日(水)
場所 飛騨市役所 3階 大会議室

第2回 期日 令和元年8月27日(火)
場所 飛騨市役所 3階 大会議室

9 飛騨市教育委員会事務点検評価委員会の飛騨市教育委員会に対する意見

飛騨市教育委員会の権限の属する平成30年度事務の点検及び評価については、飛騨市教育委員会事務局各課が行った第1次評価のとおりであることを認める。

10 点検及び評価の結果

別紙「平成30年度飛騨市教育委員会事務点検評価結果」のとおり

令和元年飛騨市教育委員会事務点検評価結果

平成30年度教育委員会の活動状況 点検評価シート

平成30年度事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

点 検 評 価 シ ー ト の 目 次

担 当 課	事 務 事 業 名	評 価	事 業 番 号
教 育 総 務 課	教育委員会活動、教育委員会事務点検評価委員会活動	A	1
	スクールバス運営事業	A	2
	飛騨市育英基金貸付事業	A	3
	小中学校施設整備事業	A	4
	学校給食運営事業	A	5
学 校 教 育 課	教職員研修・児童生徒体験学習事業（飛騨市教育研究所センター事業）	A	6
	小学校英語教育推進事業	A	7
	小中学校 I C T 環境整備事業	A	8
	ふるさと教育推進事業	A	9
	J F A こころのプロジェクト「夢の教室」開催事業	A	10
	保小中連携教育推進事業	A	11
	部活動備品購入・大会出場支援事業	A	12
生 涯 学 習 課	家庭教育推進事業	A	13
	飛騨市青少年育成推進事業	A	14
	飛騨市子ども会育成事業	A	15
	飛騨市生涯学習推進会議	A	16
	各種講座・学級の開催事業	A	17
ス ポ ー ツ 振 興 課	スポーツ推進委員活動事業	A	18
	スポーツ団体育成事業	A	19
	スポーツ行事推進事業	A	20
	ノルディックウォーキング推進事業	A	21
	体育施設管理運営整備事業	A	22
文 化 振 興 課	図書館機能の充実事業	A	23
	美術館企画展・関連ワークショップ事業	A	24
	地域歴史資源活用事業	A	25
	地域文化振興補助事業	A	26

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 1)

飛騨市教育委員会

項 目		実 績	成 果 ・ 課 題	評価
教育委員会 会議の状況	会 議	【開催回数】 9回（定例会） 【審議件数】 議案 27件、報告 5件 承認 30件、合計 62件	学校経営を始めとする教育全般について、各種委員の承認や予算、規則改正等、教育事業に必要な議題について、議論を重ね、審議することにより、教育行政の質の向上を図ることができた。	A
	協議会	【開催回数】 9回 【主な内容】 ・全国学力・学習状況調査の結果について ・教育委員会予算の方針と主要事業について ・各種後援名義等の使用許可報告について ほか	各種教育関連事業の現状や結果の報告を行い、それを踏まえた協議を重ね、市が目指す教育行政について、より良い方向付けを図ることができた。	
	事務点 検評価 委員会	【事務点検評価委員会の開催】 ・日時 平成30年8月3日、22日 2回開催 ・内容 教育委員会事務局が行った第1次評価に対する審議と意見聴取 【事務点検評価の最終評価】 ・平成30年8月29日開催、平成30年第7回教育委員会において最終評価 ・議会への報告 平成30年9月3日	教育委員会の事務事業の内容について、第三者で構成する点検評価委員会により審議を行うことで課題について改めて確認でき、教職員の職務軽減を目指した部活動指導員の導入や学校空調設備等の次年度の施策につなぐことができ、教育行政の質の向上を図ることができた。 また、評価結果の市議会報告並びに市ホームページ掲載により、教育委員会の活動状況について周知を図った。	
調査活動の状況等		・小中学校の入学式、卒業式への参列 ・小中学校の学校訪問、運動会、体育祭の参観 ・教育委員研修（聖徳大付属学校、岐阜市立図書館） ・飛騨市総合教育会議への参加（市長との対談）	授業参観や学校行事への参加により、教育現場での児童生徒や教職員の課題等の実態が把握でき、先進地視察での資質向上、行政の長である市長との協議を通じて、飛騨市の教育行政振興に帰する活動ができた。	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 2)

飛騨市教育委員会・教育総務課

重点 施策	重点 目標	平成30年度の目標	担当 課	平成29年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
快適な教育環境の整備	スクールバスの整備運営	<p>【スクールバス運営事業】</p> <p>市有バスによる小中学生における通常登下校の運送のほか、プールや部活、保管学習日等の運送や少子化に伴う乗車児童生徒の減少に合わせたタクシー送迎も取り入れて適正な運送に勤めていく。</p> <p>また、空きバスを利用したフリーバス事業についても市民の生涯学習活動等に活用していく。</p>	教育総務課	<p>〔H30 決算額〕 98,335 千円</p> <p>○スクールバス運行委託 76,935 千円</p> <p>○フリーバス運営事業 ・利用回数 24 回 利用人数 666 人</p>	<p>一年間安心・安全なスクールバス運行に努め、運用上大きな事故も無く、安全にスクールバスとしての役割を果たすことができた。</p> <p>通常の登下校に加え、夏休みにおけるプールバス、各学校で定める補完学習日の登下校にスクールバスを運行し、利便性の向上を図った。</p> <p>またフリーバスの運行についてもフレキシブルに対応し、利便性の確保にも努めたが、空き車両確保が難しい等の課題もあり、今後そのあり方について検討が必要となっている。</p>	A
		<p>スクールバス更新事業</p> <p>老朽化したスクールバスを更新基準(購入後15年以上経過・走行距離20万km以上)に従い、更新購入し、安全・安心な通学手段の確保を図っている。</p>		<p>○車両購入費 17,841 千円 ・29人乗りマイクロバス 2台 ・古中宮川車、山之村車</p> <p>運用車両の更新について、更新基準に基づき車両の更新を図り、児童生徒の安心の確保に努めた。今後についても順次適正な更新を進めていく。</p>		

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 3)

飛騨市教育委員会・教育総務課

重点 施策	重点 目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
地域が 一体とな った青年 健全育成 の推進	将来を担 う人材育 成（飛騨 市育英基 金貸付事 業）	<p>【飛騨市育英基金貸付事業】</p> <p>飛騨市の将来を支える若者が、財政的な心配なく、勉学に励むことができるよう貸付事業を実施する。</p>	教育 総務課	〔H30末基金総額〕 449,599千円	<p>平成30年度は左記の貸付を実施した。</p> <p>貸付者全体では、やや減少傾向にあるものの、平成29年度に制度拡充した償還免除型の対象者は前年度の3名に対し、6名と倍増し、事業拡充の効果が認められている。</p>	A
		<p>拡充制度導入の検討</p> <p>学費が賄えず進学を断念する優秀な若者を支援するため、低所得者世帯等がより利用しやすい制度の拡充を図る。</p>		<p>H30年度寄付金増資 100千円</p> <p>貸付総額 296,210千円 現 金 173,389千円</p> <p>H30貸付額 52件 29,820千円</p> <p>H30償還額 148件 51,433千円</p> <p>貸付件数52件の内 新規案件 16件 償還免除対象 9件</p>		

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 4)

飛騨市教育委員会・教育総務課

重点 施策	重点 目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
快適な教育環境の整備	学校施設の整備	<p>【小中学校施設整備事業】 小中学校体育館非構造部材耐震補強事業</p> <p>各小中学校の体育館について、天井材や照明設備等の非構造部材の耐震化を図る。</p>	教育総務課	<p>小中学校体育館非構造部材耐震補強事業 〔H29 繰越事業〕 77,777 千円</p> <p>○古川中学校体育館非構造部材耐震化工事 35,787 千円</p> <p>○神岡中学校体育館非構造部材耐震化工事 41,990 千円</p> <p>〔H30 年度予算〕 81,336 千円</p> <p>※R1 繰越事業</p> <p>○古川小学校体育館非構造部材耐震化工事 43,355 千円</p> <p>○神岡小学校体育館非構造部材耐震化工事 37,981 千円</p> <p>神岡小学校大規模改修事業 ・実施設計 〔H30 年度予算〕 3,240 千円</p> <p>○神岡小学校大規模改修工事設計委託</p>	<p>平成29年度繰越事業とした古川中学校、神岡中学校の二校の体育館の耐震化工事を実施した。</p> <p>また、計画に基づき令和元年度に予定していた古川小学校、神岡小学校の二校の耐震化工事については、国の補正予算措置を受けて、令和元年度に施工する。</p>	A
		<p>神岡小学校大規模改修事業</p> <p>昭和61年建設の神岡小学校校舎の老朽化が顕著となったため、大規模改修工事を行う。(令和2年度改修予定。)</p> <p>学校空調設備整備事業</p> <p>昨今の猛暑を受けて市内小中学校の空調設備整備を行う。</p>		<p>学校空調設備整備事業 〔H30 年度予算〕 280,000 千円</p> <p>※R1 繰越事業</p> <p>○市内小中学校7校の全普通教室78室に冷房設備を整備する。</p>	<p>平成30年度は、外壁・屋根改修主体の実施設計を委託。学校との協議により教育環境の整備も併せて設計を実施した。令和2年度の実施に向けて協議を重ねる。</p> <p>国で特例交付金を活用し小中学校に空調設備を整備する(令和元年度)す。</p>	

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 5)

飛騨市教育委員会・教育総務課

重点 施策	重点 目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
地域の食文化を活かした安全な学校給食の提供	安全・安心な学校給食の提供、学校給食施設の整備運営	【学校給食運営事業】 安全・安心な学校給食の提供	教育総務課	○安全・安心な学校給食の提供 〔H30 決算額〕 143,790 千円 (主な内訳) ・賃金(8人)・燃料費・光熱水費 ・古川給食センター負担金	食中毒等の大きな事故が無く、安心・安全でおいしい給食を提供できたことが一番の成果である。アレルギー対応食も手間のかかる作業ではあるが安全・確実に提供している。 学校と協力し「食の大切さ」について学ぶ機会を設けた。また、農林課と協働で「ふるさと給食の日」を実施し、子供たちに地産地消の大切さを学んでもらうことができた。 近年、調理員不足が課題となっており、抜本的な改善が求められている。業務委託等を含め検討する。	A
		食育・地産地消の推奨		(給食延べ食数) 神岡給食センター 106,698 食 河合給食センター 16,077 食 山之村給食センター 5,960 食 (参 考) 古川国府給食センター 251,945 食 (古川町部分のみ)		
		学校給食施設の整備運営		○給食施設の設備更新 〔H30 決算額〕 2,420 千円 神岡検収室エアコン設置 1,458 千円 食材用冷蔵庫ほか備品 932 千円		
				○給食費特別会計 〔H30 決算額〕 33,482 千円	物価高騰等厳しい条件の中、メニューや調理方法の改善等の努力により、安全・安心な学校給食の提供が行われた。 なお、神岡地区について、調味料等の値上げも絡み、給食費の見直しが必要な状況となっており、今後検討したい。	

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 6)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
確かな学力をつける特色ある学校づくりの推進	教職員の指導力向上・児童生徒の資質・能力の向上	<p>【教職員研修・児童生徒体験学習事業（飛騨市教育研究所センター事業）】</p> <p>子ども達一人一人の成長を支え、可能性を伸ばし、学力を向上させる視点を大切にしながら、教職員研修及び児童生徒の体験学習を充実し、教職員の資質・指導力の向上、児童生徒の資質・能力の向上を図る。</p>	学校教育課	<p>〔H30 決算額〕 362 千円</p> <p>○教職員研修会を16回開催(延べ152名参加)</p> <p>①5/21 第1回飛騨市指導力向上講座 19名</p> <p>②6/11 第2回市指導力向上講座(道徳) 10名</p> <p>③12/5 第3回市指導力向上講座(ICT) 15名</p> <p>④8/1 市教育研究所夏季講座(UD化) 8名</p> <p>⑤8/1 市教育研究所夏季講座(学級経営)6名</p> <p>⑥8/2 市教育研究所夏季講座(小英) 7名</p> <p>⑦8/2 市教育研究所夏季講座(救命) 11名</p> <p>⑧8/3 市教育実践研究論文講座 6名</p> <p>⑨5/16 児童生徒支援員研修(全体) 20名</p> <p>⑩7/13 児童生徒支援員研修(神岡) 5名</p> <p>⑪9/26 児童生徒支援員研修(古川) 15名</p> <p>⑫5/24 第1回学校司書研修(高山市北中) 7名</p> <p>⑬10/4 第2回学校司書研修(古川中) 7名</p> <p>⑭7/2 第1回教育相談員研修 3名</p> <p>⑮9/18 第2回教育相談員研修 4名</p> <p>⑯6/4 校務員研修 9名</p> <p>○自然体験活動 「夏休みわくわく自然体験教室(神岡地区)」 ・8月7日実施 12名参加</p> <p>○英語活動 「ふるさと魅力プレゼンテーションビデオ作成」 ・7月31日実施 33名参加</p>	<p>○教員、児童生徒支援員、学校司書、校務員など児童生徒の学習と学校教育環境を支えるあらゆる職員が研修を積むことで総合的に学校教育力の向上に繋がり、児童生徒の学力向上の結果にも結びついている。本年度は、タブレット型PCの導入に伴い、ICT機器の活用研修も実施することができた。自然体験教室では、子どもたちが飛騨市(神岡地区)の魅力を存分に味わうことができた。</p> <p>○新しい時代に必要となる資質・能力を子供たち一人一人に確実に育む学校教育の実現を目指した新しい学習指導要領が、小学校は令和2年度、中学校は令和3年度から全面实施される。移行期となる令和元年度は、ICT機器・デジタル教材の活用や特別な教科道徳・小学校英語教育の推進など、教育の今日的な課題を踏まえた教職員研修の充実を図る。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 7)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
確かな学力をつける特色ある学校づくりの推進	教職員の指導力向上・児童生徒の資質・能力の向上	<p>【小学校英語教育推進事業】</p> <p>英語指導講師の配置や小学生の英語体験学習の実施により、発音・語彙・文法等の間違えを恐れずに積極的に英語を使つてのコミュニケーションを図ることができる児童の育成を目指す。</p>	学校教育課	<p>[H30 決算額] 4,280 千円</p> <p>○英語指導講師2名配置 山之村小学校を除く市内5小学校に週1～2日配置</p> <p>○小学校英語教育指導力研修 ・第1回 4/17 (古川小) ・第2回 4/25 (古川小) ・第3回 5/9 (宮川小) ・第4回 6/27 (飛騨市西庁舎) ・第5回 8/2 (夏季講座：飛騨市西庁舎)</p> <p>○英語体験活動「英語dayキャンプ」 ・7/31 古川町公民館 ・児童35名参加</p> <p>ALT (外国語指導助手) 3名の協力のもと、参加児童は、英語を使つてのゲーム遊びやカレー調理実習にいきいきと取り組み、英語でコミュニケーションすることの楽しさを実感することができた。</p>	<p>○令和2年度の新学習指導要領の全面実施に伴い、全6小学校の英語授業を円滑に実施するため、平成30年は移行期間、令和元年度に前倒し完全実施に向けての取り組みを進めてきた。市費の英語指導講師を2名配置し、英語の授業の教材研究や教材作成の補助をすることや、学級担任と共に英語の授業を行うことにより、小学校英語の授業が円滑に実施することができた。</p> <p>○学級担任と英語指導講師が連携して学年の発達段階を踏まえた指導を実施することにより、英語嫌いな児童をつくらない個に応じた丁寧な学習が実現できた。</p> <p>◎教員や英語指導講師のさらなる指導力の向上を図るために、市内6小学校英語教育の専門講師による小学校英語出前研修を実施する。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 8)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
確かな学力をつける特色ある学校づくりの推進	教職員の指導力向上・児童生徒の資質・能力の向上	<p>【小中学校ICT環境整備事業】</p> <p>児童生徒用PCの更新に合わせてタブレット型PCを導入することにより、児童生徒が自らの問いや願いをもち、対話を通して学びを深める授業づくりを推進し、自ら学び未来を切り拓くことのできる人づくりを目指す。</p> <p>併せて、耐用年数が過ぎた教員用PCの更新を行う。</p>	学校教育課	<p>[H30決算額] 8,475千円</p> <p>■小中学校ICT環境整備事業 [H30決算額] 1,870千円</p> <p>○児童生徒用タブレット（106台） ・河合小（11台）、宮川小（5台）、神岡小（40台）、神岡中（40台）、山之村小中（5台）、予備機（5台） ○大型ディスプレイ（5台） ○授業用Windowsタブレット・共同学習支援ツール（5台）</p> <p>■教員用PC更新導入事業 [H30決算額] 6,605千円</p> <p>○教員用校務PC（76台） ・河合小（12台）、宮川小（10台）、神岡小（23台）、神岡中（20台）、山之村小中（10台）、予備機（1台） ○メール用PC（10台） ○図書室用PC（7台） ○教員用プリンター（8台）</p>	<p>○令和2年度の新学習指導要領の全面実施に伴い、主体的・対話的で深い学びにつながる授業改善を進める方策の1つとして、小中学校のICT環境の整備を進めてきた。河合地区、宮川地区、神岡地区の5小中学校において、児童生徒用デスクトップ型PCをタブレット型PCに更新し、共同学習支援ツールを導入することにより、児童生徒相互の対話を生み出す授業づくりを進めることができた。</p> <p>◎令和元年度は、昨年度未整備の古川地区の3小中学校において、児童生徒用デスクトップ型PCをタブレット型PCに更新する。「ICTを活用した授業づくり」事業により、小学校4年生以上の普通教室に電子黒板とWi-Fi環境を整備する。併せて、昨年度未更新の古川地区の3小中学校耐用年数が過ぎた教員用PCの更新を行う。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 9)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
ふるさとを愛する豊かな心づくり・健やかな身体づくりの推進	ふるさとを愛する心の育成	<p>【ふるさと教育推進事業】</p> <p>子ども達のふるさと飛騨市における様々な活動（体験・参加・貢献活動等）を通じて、郷土に生きる人々の思いや生き方、その価値を学び、ふるさとを愛する心を育む教育を実現するために、各小中学校の学校経営方針に基づき、地域や学校の特色を活かして地域に根ざした「ふるさと教育」を推進する。</p>	学校教育課	<p>〔H30 決算額〕 4,428 千円</p> <p>○各学校活動実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古川小 古川再発見・町めぐり、米づくり体験、福祉施設体験活動 ・古川西小 果樹園・和紙漉き等体験学習 ・河合小 ふるさと魅了再発見遠足 ・宮川小 ふるさと学習発表会、地歌舞伎防災かるたづくり ・宮川小 チャール宮川宿泊体験、民話劇発表（感謝の会）、民話版画カレンダー ・神岡小 春慶塗・吉田太子踊り体験、神岡水屋巡り、天蓋山登山 ・古川中 吹奏学部地域応援隊、地域社会人職業講話、ふるさと版画作品 ・神岡中 地元企業体験ワークショップ、スーパーがカネ見学 ・山之村小中 船津座公演（山っこ獅子・きつねつり）、寒干し大根づくり ・3/17（日）地区生涯学習推進大会パネル展示 	<p>○各学校のふるさと学習について、学校と地域との連携がより密になり、地域講師がふるさと学習の意義についてより理解を深め、充実した取組になってきた。また、これまでの活動を踏襲するだけでなく、地歌舞伎や民話劇の発表や他校との成果の発表交流など、児童生徒のふるさとに対する思いや願いに基づいた取り組み成果の発信が積極的に行われた。</p> <p>◎市内の小中学校が、飛騨市学園構想の重点として検討を進める保小中高一貫カリキュラムの作成を踏まえ、体験だけでなく、地域の課題を見つけて主体的に取り組み課題解決能力を育むという視点でふるさと学習のカリキュラムの見直しを図れるようにする。</p>	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 10)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
ふるさとを愛する豊かな心づくり・健やかな身体づくりの推進	ふるさとを愛する心の育成	<p>【JFAこころのプロジェクト「夢の教室」開催事業】</p> <p>公益財団法人日本サッカー協会のJFAこころのプロジェクト事業「夢の教室」を活用し、『夢先生』を市内小学校に招聘し、『夢の教室』授業を行う。</p> <p>夢先生が子ども達に「夢を持つこと、仲間と協力することの大切さ」をレクリエーションやトークを通して伝える。</p> <p>子ども達は、夢シートの記入や夢先生からのメッセージをもとに、さらに夢を膨らませて実現への意欲を高める。</p>	学校教育課	<p>〔H30 決算額〕 830 千円</p> <p>■「夢の教室」の実施 対象：小学校5年生</p> <p>○夢先生：中村麻衣先生 (アーティスティックスイミング) 7/3 河合小・宮川小 7/4 神岡小</p> <p>○夢先生：岡本篤士先生 (プロ野球) 7/5 古川西小</p> <p>○夢先生：相澤優子先生 (女子バスケット) 10/10 古川小</p>	<p>○子ども達は、夢先生の夢の実現のために取り組んだ物語を真剣に聞き、夢の実現に向けてのプロセスや自分の夢について考えることができた。また、夢先生やJFAスタッフとのゲームを通して、目標に向かって心をつにして取り組むことの楽しさや喜びを実感することができた。後日、夢先生からの直筆の心のこもった励ましのメッセージが届き、子どもたちは、喜び感動するとともに夢の実現に向けて取り組む意欲を高めることができた。</p> <p>◎令和元年度は、山之村小学校においても実施され、本事業3年目で市内全小学校において実施する。</p> <p>◎「夢の教室」を一過性のものに終わらせず、夢先生が学校に訪問し授業をする1日を年間のプログラムの中核的活動にしながら、連続的な活動にすることが課題である。</p> <p>JFAと学校・教育委員会が連携して、事前・当日・事後のプログラムを検討する。</p>	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 11)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
一人一人を大切にし 一人一人のよさを伸ばす教育の推進	一人一人のよさを伸ばす教育の推進	<p>【保小中連携教育推進事業】</p> <p>保育園・小学校・中学校の12年間を見通した一貫性のある指導により、保小中の生活面・学習面の指導・取組みについて、早期からの教育支援を行い、個に徹した指導の充実や不登校児童生徒の未然防止を図る。</p>	学校教育課	<p>[H30 決算額] 191 千円</p> <p>■小中連携教育推進委員会の実施 年3回</p> <p><委員11名></p> <ul style="list-style-type: none"> ・有識者 橋本治 岐阜大学大学院教授 ・校長代表、保育園長代表、教頭代表 ・主幹教諭、教務主任代表、保育士代表 ・事務局：教育委員会3名、子育て応援課1名 <p>○第1回 5/16</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長、教育長挨拶 ・保小中連携の現状、課題交流 ・橋本教授指導、助言 <p>○第2回 9/18</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保小中連携教育推進校視察報告(埼玉県草加市教育委員会視察、草加市保小中研修会参加) ・連携カリキュラム等の進捗状況 ・橋本教授指導、助言 <p>○第3回 1/17</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入児童用リーフレット試行検討 ・橋本教授指導、助言 	<p>○保小中連携教育推進委員会を年3回実施し、検討委員会メンバーで岐阜大学大学院の橋本治教授の指導のもと、学校関係者、保育園関係者が園児や児童生徒の実態等を互いに交流して理解を深め、小学校新1年生保護者向けリーフレットや飛騨市版アプローチ・スタートカリキュラムの試案を作成することができた。</p> <p>◎令和元年度より、市内全ての保育園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校を一つの大きな「飛騨市学園」と見立て、①「課題解決能力を育む」保小中高一貫カリキュラムの作成と試行実施、②学校と家庭・地域が飛騨市の子どもの育成について目標やビジョンを共有し、連携・協働するためのコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の導入、③各校種間交流等の実施の3本柱を掲げ、構想の実現を目指す。</p>	A

様式第2号 (第4条関係)

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 12)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
一人一人を大切にし 一人一人のよさを伸ばす教育の推進	一人一人のよさを伸ばす教育の推進	<p>【部活動備品購入・大会出場支援事業】</p> <p>各部活動で予選大会等を勝ち抜き上位大会(岐阜県大会以上)へ出場する際の一部補助するとともに、それ以外の大会出場及び遠征実施も一部補助することで、保護者や個人の負担を軽減し、出場選手が不安なく練習・試合に取り組める環境を整える。</p> <p>また、継続して部活動備品の購入について支援を行う。具体的には吹奏楽部所有楽器について5年計画的な整備を行い、保護者の費用負担を軽減・部活動の活性化を図る。</p>	学校教育課	<p>〔H30 決算額〕 4,572 千円 1</p> <p>1 ○岐阜県大会以上の出場補助(1,558千円) 出場選手及び引率者1名分の交通費(バス借上料、道路通行料等)、宿泊費、傷害保険料、大会参加料の一部を補助する。(県大会及び東海大会出場：補助率1/2以内、全国大会出場：補助率8/10以内) 補助対象：20件(県大会15件、東海大会2件、全国大会3件)</p> <p>○上位大会(岐阜県大会以上)以外の大会出場及び遠征実施補助(1,030千円) 出場選手及び引率者1名分の交通費(バス借上料、道路通行料等)の一部を補助する。(補助率1/2以内) ※1部活動につき年間2回まで 補助対象：20件(協会主催等の大会出場15件、遠征5件)</p> <p>○吹奏楽部 楽器購入(1,984千円) 古川中 ペダルティンパニー2 神岡中 バスクラリネット1 コンサートトムトム4 ダブルカスタムスタンド2</p>	<p>○県大会以上の大会に加え県大会以外の大会出場や遠征の際の交通費の一部補助について、部活動育成会や保護者の認識が深まり、年間を見通して計画的・有効的に活用されるようになった。その結果、昨年度以上に保護者の負担を軽減することができた。また、本年度より拡充された吹奏楽部楽器購入についても、学校備品として5年計画の整備1年目として、古い楽器の買い替えをすることができ、部活動の活性化・保護者の負担軽減に大いに繋がった。</p> <p>◎年度途中における予算執行の見通しが立てにくいことは例年課題としてあるが、今後も、上位大会以外の大会出場及び遠征の実施については、これまでの実績を部活動顧問並びに育成会が把握し、1部活動につき年間2回の補助を計画的に有効に活用できるようにする。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 1 3)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	平成 3 0 年度の目標	担 当 課	平成 3 0 年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
地域連携による教育力の向上	親の育ちを応援し地域のつながりをつくる家庭教育の推進	<p>【家庭教育推進事業】</p> <p>○乳幼児・幼児学級の開催 市内に在住する乳幼児、幼児と保護者を対象に、子どもの成長にあわせた、段階的な保護者の学びの場や子と保護者の交流の場を提供し、保護者が主体となった学級の運営を通じて、保護者の学びや成長につなげる。</p> <p>○家庭教育学級の開催 家庭が本来果たすべき役割を改めて見つめ直す機会となるよう、小中学生の発達段階に応じて、家庭教育の意義と役割を保護者自身が学習し、子と保護者がふれあう場を提供する。</p>	生涯学習課	<p>〔H30 年度決算額〕 2,125 千円</p> <p>≪乳幼児学級(0～3 才児と保護者対象)≫ ・各町子育て支援センターで実施 参加者数 延べ 200 組 実施回数 69 回</p> <p>≪幼児学級(保育園児と保護者対象)≫ ・各園で実施 実施回 16 回(絵本ライブ、親子ヨガ、減塩の話など) 合同講演会 1 回(親子でダンス)</p> <p>≪家庭教育学級(小中学生と保護者対象)≫ ・全小中学校 P T A で実施 実施回数 60 回 親子工作教室、親子料理教室、生活安全教室(SNS について学ぶ)等</p> <p>乳幼児学級については子育て支援センター・子育てサポーター、幼児学級は各保育園・保護者会、家庭教育学級は各学校 P T A の協力のもと事業を実施した。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子と保護者のふれあい活動とともに、保護者同士のふれあいを通してコミュニティ(ふるさと)の素晴らしさを認識する機会となった。 幼児学級を通して、家庭教育の方法を学んでいただくなかで、愛情や食育の大切さを感じていただくことができた。 各校の家庭教育学級担当職員、各 P T A に家庭教育学級担当の協力のもと、計画的・継続的な活動が展開された。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭教育について、子育て支援センター、保育園、学校における各学級での活動を継続し、社会の変化に対応するべく、食育やスマートフォンの使い方などの学びを通し、家庭が果たすべき役割を見つめ直す活動を実施する。 幼児学級、家庭教育学級の実施にあたっては、実施機関との情報交換を行いながら進めていく。 乳幼児学級、幼児学級については、子育て施策として窓口を一本化するため、令和元年度から事務を市民福祉部子育て応援課に移管し進めていく。 	A

様式第 2 号 (第 4 条関係)

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 1 4)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	平成 3 0 年度の目標	担当課	平成 3 0 年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
地域に根差した人づくりの推進	地域が一体となった青少年健全育成の推進	<p>【飛騨市青少年育成推進事業】</p> <p>○飛騨市成人式の開催 国民の祝日に関する法律第 2 条の定めによる「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いほげます。」ことを趣旨とする。</p> <p>○青少年育成推進員活動 家庭・学校・地域の連携強化を推進員によって進め、三者がお互いに手を取り合い地域の青少年育成活動を推進する。</p> <p>○青少年育成市民会議の運営 市内の関係機関・団体との連携を密にし、青少年の健全な育成を図る。</p>	生涯学習課	<p>〔H30 年度決算額〕 1,579 千円</p> <p>○平成 31 年飛騨市成人式の開催 開催日 平成 31 年 1 月 3 日 (古川会場) 出席者 160 名 (神岡会場) 出席者 59 名 合計 219 名 (古川会場) 写真撮影コーナーの設置 (神岡会場) 新聞号外を発行</p> <p>○青少年育成推進員活動事業 推進員 23 名を中心に地域連携のための青少年育成連絡協議会を組織し、各町単位の部会で育成活動を実施した。 ・古川部会 会議 7 回、ふれあい集会開催 ・河合部会 会議 4 回、各種行事への参加 ・宮川部会 会議 4 回、各種行事への参加 ・神岡部会 会議 4 回、啓発活動の実施、小中高連携挨拶運動への参加</p> <p>○青少年育成市民会議 ・6 月 9 日 飛騨市少年の主張大会開催 ・「地域のおじさん、おばさん運動」加入促進活動 新規加入者 236 名 ・家庭の日啓発図画・ポスター 小学生 2 点、中学生 1 点 県へ出展</p>	<p>【飛騨市成人式開催の成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古川、神岡の二会場で実施し、励ますとともに式典後に交流を促す企画を行い、市内外在住者の活発な情報交換を図った。2022 年に成人の年齢が 18 歳になるため、開催方法等の検討が必要。 <p>【青少年育成推進員活動の成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地域(4 部会)において、推進員を中心に青少年の健全育成に向けて家庭・学校・地域と連携しながら集会の実施、地域行事への参加により活動を推進した。 かわいいなカーにぼる、宮川町文化祭 神岡飛騨獅子まつりなど、地域の行事では、チラシ、啓発物を配布しながら啓発を実施し地域住民とのふれあいを深めた。 <p>【青少年育成市民会議の成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種団体が青少年の健全育成に向け、地域の活動に参加協力していくことで共通認識を持つことができ青少年の健全な育成を図ることができた。 生涯学習推進会議青少年部会との連携した活動、取り組みを継続して行う。 	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号15)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
地域に根差した人づくりの推進	地域が一体となった青少年健全育成の推進（飛騨市子ども会の育成）	<p>【飛騨市子ども会育成事業】</p> <p>子ども会の組織の発展及びにその活動の促進充実を通じて、児童生徒の健全育成を図る。</p> <p>また、ジュニアリーダーの養成およびジュニアリーダークラブの活動の発展の支援と活動の場の提供を行う。</p>	生涯学習課	<p>〔H30年度決算額〕 720千円</p> <p>○飛騨市内子ども会員数 飛騨市会員数 1657名 内訳 古川町 1191名 河合町 75名 宮川町 25名 神岡町 366名</p> <p>○各町の行事 飛騨市 なかんじょ川にて9月にデイキャンプを開催（参加25名） 古川町 ナチュラルみやがわにて7月にキャンプを開催（参加64名） 河合町 河合小学校体育館にて8月にふれあい広場を開催（参加42名） 宮川町 ナチュラルみやがわにて10月にふれあい広場を開催（参加13名） 神岡町 桜ヶ丘体育館にて11月に球技大会を開催（参加82名）</p> <p>○ジュニアリーダークラブの活動 会員数10名（古川3名、神岡7名） 定例会9回 研修会3回（地区1回、県2回） 派遣12回（単位子ども会への派遣6回、市町単位の子どもの会事業への派遣3回、子ども会以外の派遣3回）</p>	<p>【子ども会育成事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生を対象にリーダー養成を目的とした行事を各町で行い、活動の充実や児童生徒の健全育成を図った。 <p>【子ども会育成事業の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年の課題であるが、子どもの減少に伴い、単位子ども会の運営が難しくなっている。子ども会活動の存続に向け、必要に応じて単位子ども会の統合等も視野に今後の運営についての支援を行っていく。 <p>【ジュニアリーダークラブの成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアリーダークラブは、単位子ども会への派遣だけでなく、市町単位で行う事業にも参加し、市内の子ども達と関われる機会が増えた。また、地区や県単位で行われる研修会に積極的に参加し、ジュニアリーダーのスキルアップに努めた。ジュニアリーダークラブの活動の認知度がまだ低いのが現状であるため、学校及び市民への周知等を進める必要がある。 	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号16)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
地域に根差した人づくりの推進	社会教育関係団体と人材の育成（飛騨市生涯学習推進会議の運営）	<p>【飛騨市生涯学習推進会議】</p> <p>生涯学習関係団体と連携しながら生涯学習施策を推進するため、課題の共有と活動についての共通理解を図る。</p>	生涯学習課	<p>[H30年度決算額] 529千円</p> <p>○運営委員会の実施（3回） （4/24、1/29、2/25）</p> <p>○部会会議、研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てネットワーク部会 ・地域ぐるみの青少年健全育成部会 ・文化・芸術振興部会 ・生涯スポーツ振興部会 <p>○生涯学習推進大会の開催</p> <p>3/17 古川町公民館大会議室 130名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化・芸術振興部会の発表 野田晶子氏の講演 演題「こころの表現 五七五～俳句や短歌で心を爽やかに～」 ・各部会の発表(生涯学習関係団体の紹介) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会活動で意見交換を行い、部会間の横の連携をとり、関係する団体が方向性を共有し、地域人材は青少年の育成が大切であるという共通理解を図ることができた。 ・推進大会では、長年地域のために活動している団体の発表や市内小中学校の「ふるさと学習」の発表や展示により、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働し、地域社会の基盤の構築・活性化・活性化を図る地域づくりを推進した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年への寄り添い方について地域や近隣の理解を深めるため、市民向けの講演会実施について検討する。 ・生涯学習活動を行っている個人や団体について、広く市民に紹介し支援を行っていく。 ・成果を関係団体の活動や次年度の公民館講座での活用など、具体的事業に発展・進化にさせていく。 	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号17)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
生涯学習機会の提供	ライフステージにあわせた生涯学習の推進	<p>【各種講座・学級の開催事業】</p> <p>市民のライフステージにあわせた公民館講座を実施する。</p> <p>市民の「教えたい」という気持ちを具現化するため、市民提案型の自主講座を実施する。</p> <p>シニア世代を対象に、ふれ合いや学ぶ喜びを大切に、社会参加意識を呼び起こし、高める場として高齢者学級を開催する。</p>	生涯学習課	<p>〔H30年度決算額〕 1,820千円</p> <p>公民館講座 53件 参加者 511名 自主講座 52件 参加者 455名 高齢者学級 11回開催 参加者 757名 寿大学 6教室 参加者 116名</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館講座など、市民ニーズに答える学習機会を提供し、ライフステージにあわせた生涯学習を推進する。最終的には、誰もが「学び」誰もが「教える」自主自立型の学びの場を設け、学びを支える人材を育てる自主講座へと繋げていく。 公民館講座は、飛騨市教育方針「ふるさと意識を持ち、学び続ける人づくり」に鑑み、ふるさとの文化、工芸や風俗をテーマとした講座を盛り込み開催した。 高齢者の生きがいがづくりや引きこもり対策を目的とした高齢者学級を開催し、学びの場を提供することで、高齢者も地域の一員であることを再認識していただき、地域参加や地域貢献への意識高揚を図った。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館講座は、ふるさと文化についての学びをワークショップにて展開、21講座を拡充し相応の参加を得ることができ、講座の定着化を進めた。夏休みには子供向けの講座（電気教室）を実施。自主講座は、公募により事業を進め、昨年並みの実績で推移した。 各町単位で高齢者学級を実施した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館講座に対する市民ニーズを捉えるため、参加者中心にアンケートを継続実施し、求められている講座の開催に繋げる。さらに、学びの自主性を高めるため公民館講座から自主講座への転換を推進する。 神岡町公民館では商工会議所の移転後2年が経過、今後も公民館利用及び活動がより幅広く推進できるよう公民館講座の拡充を図っていく。 高齢者学級のあり方が各町の地域性にあわせての実施となっているが、古川でも学級形式、神岡・宮川・河合でもサークル形式の講座を計画するなど、学習機会の均等化を進めていく。 	A

様式第 2 号 (第 4 条関係)

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 18)

飛騨市教育委員会・スポーツ振興課

重点 施策	重点 目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
地域スポーツ活動の推進	スポーツ推進委員活動事業	<p>【スポーツ推進委員活動事業】</p> <p>地域スポーツの活性化の中心となって活動を行っていくほか、総合型地域スポーツクラブ等の支援を含め、全市的にスポーツを普及促進していく。また、研修会等への参加、スポーツ活動指導者の発掘・養成に努め、資質の向上を図る。</p>	スポーツ振興課	<p>[H30 決算額] 2,229 千円</p> <p>○2年任期の1年目(総勢32名) 古川町 11名 河合町6名 宮川町 6名 神岡町9名</p> <p>○各地区でスポーツ教室等開催 6/ 2 ふれ愛 軽スポーツ大会 7/ 1 スタンプウォーク 8/ 5 市民登山 12/ 2 ふれあいソフトミニバレー大会</p> <p>○各地区スポーツ行事の協力 6/ 2 河合町民運動会 10/14 河合町ふれあい広場</p> <p>○研修会等への参加 6/23 飛騨地区前期研修会 10/20 飛騨地区後期研修会 12/ 8 岐阜県研究大会 2/1~2 東海四県研究大会 3/ 3 飛騨市研修会</p>	<p>【成果】</p> <p>○代表者会議は随時開催し、4地区の情報交換を行った。</p> <p>○多くの子供たちに軽スポーツの普及ができた。</p> <p>○河合町民運動会への委員派遣など、地域要望に基づいた特色ある活動を行うことができた。</p> <p>○愛知県豊橋市で開催された東海四県研究大会では、飛騨地区代表で川合委員長がパネラーとして意見を述べた。</p> <p>【課題】</p> <p>○研修会等に積極的に参加し、推進委員の資質の向上に努める。</p> <p>○市民ニーズに合った新たな軽スポーツの普及に努める。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 19)

飛騨市教育委員会・スポーツ振興課

重点 施策	重点 目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
地域スポーツ活動の推進	スポーツ団体育成事業	<p>【スポーツ団体育成事業】</p> <p>スポーツ団体の組織づくりと強化を図り、競技力の向上、青少年の健全育成、スポーツ活動の普及等スポーツ推進、指導者の育成支援及びスポーツ団体への活動支援等を行い、スポーツによる地域の活性化を図る。</p> <p>【支援内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助金交付 事務局支援 <p>【対象団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> 飛騨市体育協会 飛騨市スポーツ少年団 山の村だいこんマラソン実行委員会 飛騨シューレ 	スポーツ振興課	<p>○体育協会 〔H30 決算額〕 2,076 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民スポーツ大会の開催。 飛騨地区大会・県民スポーツ大会における選手団派遣。 本部組織と各町支部組織との連携、意思統一を図った。 スポーツ功労者及び特別表彰。 (スポーツ功労者1名・特別表彰6名) <p>○スポーツ少年団 〔H30 決算額〕 778 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者向け講習会を実施し、質の向上に努めた。 団員向けリーダー研修を実施し、横のつながり、集団行動等を学ぶ機会を設けた。 <p>○山の村だいこんマラソン 〔H30 決算額〕 1,200 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 9 / 9 1,338 名の参加があった。 <p>○飛騨シューレ 〔H30 決算額〕 90 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 8 / 12 ボールあそびワークショップ 10 / 19 わかりやすいテーピングワークショップ。 	<p>【体育協会の成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市大会の開催、県大会の激励を行った。 ○飛騨地区大会は7月の豪雨災害により殆どの競技が中止となった。 ○参加者の減少が著しい河合、宮川支部については、合同開催及び支部の統合が課題。 <p>【スポーツ少年団の成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今年度もリーダー研修会を実施し、大変好評だった。今後も継続実施を行う。 ○団員の減少、指導者不足が課題。 <p>【だいこんマラソンの成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○台風の影響で中止が心配されたが無事20回記念大会を開催することができた。21回大会からは新たに実行委員会を組織し開催する予定。 <p>【飛騨シューレの成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動経験の少ない子どもにバスケットボールやテニスボールなど、ツールを利用した体あそびを行う中で、からの使い方を楽しく学ぶことができた。 ○指導者向けテーピング講座を実施。 	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 20)

飛騨市教育委員会・スポーツ振興課

重点 施策	重点 目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
地域スポーツ活動の推進	スポーツ行事推進事業	<p>【スポーツ行事推進事業】</p> <p>市民が参加しやすいスポーツ行事の運営をスポーツ関係団体等に委託して実施することで、より多くの市民がスポーツに関心を持ち、親しみながら健康づくりを図る機会を増やしていく。</p>	スポーツ振興課	<p>[H30 決算額] 2,275 千円</p> <p>①第14回 剣道錬成会及び飛騨かわい剣道アカデミー 6/16：100名、11/23：82名</p> <p>②FC岐阜子どもサッカー教室（年2回） 8/3：28名、11/11：44名</p> <p>③飛騨市民登山（富山市立山町：雄山） 8/5：45名</p> <p>④古川町スポーツフェスティバル2018 10/7 1000名 会場：飛騨市森林公園一帯 内容：体力測定、軽スポーツ、ウォークラリー、10種競技等</p> <p>⑤第15回河合町民ふれあいスポーツ広場 10/14：49名</p> <p>⑥ふれあいソフトミニバレーボール大会 12/2：37名</p> <p>⑦飛騨市ふるかわ元旦マラソン2019 1/1：886名</p>	<p>①飛騨かわい剣友会にて有段者の講師を招き、意義のあるアカデミーを開催。参加者も多いことから事業継続により更なる少年剣士の育成を目指す。</p> <p>②プロサッカー選手によるサッカー指導やボール遊びを通して、幼児期からのサッカーへの関心を高める事ができたが、夏場の開催では暑さのため欠席者が多かったため、開催時期を検討。</p> <p>③今年度は上級者向きの山だったが、非常に人気があり、参加者も多かった。</p> <p>④内容がマンネリ化傾向。参加者も年々減少している。新しい軽スポーツの実施やイベント内容の見直しが必要。</p> <p>⑤今年度は熱中症を考慮し秋に行ったが参加者が減少した。しかしルールを覚えた参加者が増えている為、継続的な支援及び開催が必要。</p> <p>⑥昨年参加者の呼びかけを行ったが減少した為、早めの周知と広報掲載が必要。</p> <p>⑦多少、参加者が少なかったが、元旦から市民の元気や活力を引き出せる意義のある行事に定着している。</p>	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 21)

飛騨市教育委員会・スポーツ振興課

重点 施策	重点 目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
地域スポーツ活動の推進	ノルディックウォーキング推進事業	<p>【ノルディックウォーキング推進事業】</p> <p>市民の健康意識の高まりを踏まえて、年齢問わず、個人でも気軽に取り組むことができるノルディックウォーキングを普及させる。また、市内4町にノルディックウォーキングの推奨コースを設定、市民にわかり易い推奨マップを作成。</p>	スポーツ振興課	<p>[H30 決算額] 334 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ノルディックウォーキング公認指導員資格取得講習 5名 ○ノルディックウォーキング推進教室 5回 (6/10、6/24、9/23、10/28、11/4) ○飛騨市ノルディックウォーキング研究会の発足 ○飛騨市内推奨ノルディックウォーキングマップ作製 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各地区1回以上の教室を計画し、ノルディックウォーキングの普及啓発活動を行うことが出来た。参加者数も年々増えてきており、「飛騨市いきいき健康増進事業」で貰えるトレッキングポールは今年度193本の支給があり、参加された方からは大変好評を得ることができた。来年度は更に教室の回数を増やし、普及活動に努める。 ○今年度も公認指導員の資格取得助成金5名分を予算化し、5名の方が公認指導員の資格を取得された。 ○飛騨市内推奨ノルディックウォーキングマップを作成し、普及啓発に努めた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教室の開催は休日が主であることからより女性の方に参加してもらえるよう平日での開催を検討する。 ○指導員養成等にも力を入れ、指導者を増やして普及活動を強化する。 	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 22)

飛騨市教育委員会・スポーツ振興課

重点 施策	重点 目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
地域スポーツ環境の充実	体育施設管理運営整備事業	<p>【体育施設管理運営整備事業】</p> <p>市民が真摯にスポーツに勤しめるよう、体育施設を適正に管理運営し、必要なニーズに応じて改修等を行うことで安心安全な体育施設を維持管理していく。また、懸案事項となっている「飛騨市スポーツ施設整備計画」の策定を行う。</p>	スポーツ振興課	<p>[H30 決算額] 60,128 千円</p> <p>○体育施設管理事業 44,590 千円 39 施設</p> <p>○社会体育施設改修工事 6,471 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河合プールフェンス設置工事 ・坂巻グラウンド夜間照明修繕 ・河合プールろ過機修繕 <p>○社会体育施設除却工事 3,407 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神岡小学校屋外トイレ解体工事 ・河合プール既存フェンス解体 <p>○社会体育施設撤去工事 308 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林公園案内看板撤去工事 <p>○運動機械器具購入 5,352 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜ヶ丘体育館トレーニング機器購入 <p>○飛騨市スポーツ施設整備計画策定事業 既存施設の大規模維持整備や市民等から要望のある施設の整備について、有識者等からなる委員会を設置し、計画的に整備の推進を図れた。 委員：9名 委員会の開催：7回</p>	<p>【成果】</p> <p>○体育施設の管理及び施設の改修については、当初予算どおり業務の執行、修繕改修を計画的に行うことができた。</p> <p>○運動機械器具の購入については、市民のニーズに合った器具を導入することができ、トレーニング室の利用者もリニューアルオープン前と比べ、高校生以下2.4倍、一般1.6倍と急激な増加となった。</p> <p>○飛騨市スポーツ施設整備計画については、新設及び改良整備11施設、既存施設の維持管理24施設について、利用者数及び要望度合と事業効果の観点から類型ごとに評価基準を設け、優先度を決定できた。</p> <p>【課題】</p> <p>○同一年代を経過した施設の老朽化</p> <p>○数ある体育施設の利用頻度に合わせた施設の見直し及び行政財産の整理。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 23)

飛騨市教育委員会・文化振興課

重点 施策	重点 目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
図書館事業の推進	図書館の充実	<p>【図書館機能の充実事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館購入等事業 利用者ニーズにマッチした選書やリクエスト本の購入に努めるとともに古い蔵書を順次更新するなど利用者にとって魅力ある図書館を目指す。 来館促進自主イベント事業 これまで図書館に来館されたことの無い層をターゲットとしたイベント企画・実施することで、新たな図書館利用者の掘り起こしにつなげる。 	文化振興課	<p>[H30決算額] 9,960千円 蔵書購入：5,494冊/年</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館利用者のニーズに合った図書選書に努めた。また本のリクエストには適宜応え、魅力ある蔵書を揃えた図書館を目指した。 <p>利用者数：28,420名（市図書館） 12,408名（神岡図書館）</p> <p>[H30決算額] 224千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな図書館利用者の掘り起こしとして「歴史講座」や「音楽」（ジャズ）の演奏、「出前落語」等のイベントを実施した。これまで図書館を利用した事がない市民にとって、イベントに興味を持ち来館を促すきっかけを作ることで図書館利用につなげた。イベント実施回数及び参加者は、延べ41回で2,706名にのぼった。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館は市民の自ら学ぼうとする意欲を支援し、知的出会いの場を提供する機関として、多様化する学習に対応するため図書資料等の充実した整備に努めるとともに、ITを活用した情報収集の場としての高度情報センターの利用促進に努めた。また、市内の図書サービスの格差是正として、河合・宮川・山之村地区の3箇所に対し、定期的に図書の配架を行う「飛ぶ図書館」を実施し、遠隔地における距離的ハンディを補う配慮を行った。 市民が求める多様なニーズに応えるべく、利用者に魅力を感じてもらえる蔵書構成に心掛けるため、県図書館で行われる職員研修への参加や他の先進図書館の視察を通じスキルアップを図った。今後習得した事を活かし図書館の運営を行いたい。 	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 24)

飛騨市教育委員会・文化振興課

重点 施策	重点 目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
文化施設・文化交流施設の充実	美術館運営・文化施設の運営	<p>【美術館企画展・関連ワークショップ事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 美術館企画展等開催事業 新たな美術館運営コンセプトを掲げ2年目となる。多様な文化芸術を創造するアートセンター目指し、文化芸術に関わる展示活動・芸術活動・研究活動・人材開発面活動・記録活動などの総合的な市民の文化芸術活動に対応（支援）する運営を目指す。 組紐体験文化交流事業 昨年より引き続き伊賀市と交流することで高度な組紐技術を習得し、WS内容の充実化を図るとともに地元組紐愛好者の育成に努める。 	文化振興課	<p>[H30決算額] 2,059千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 井上あき子ちぎり絵 ひだ行脚 会期：69日 入館者数：1,267名 昭和に生きた飛騨三女展 会期：22日 入館者数：1,060名 細江光洋の世界展（県美移動展） 会期：26日 入館者数：1,557名 台湾 新港郷文化展 会期：14日 入館者数：983名 第11回飛越交流展 会期：26日 入館者数：668名 飛騨の工女展 会期：26日 入館者数：904名 WS関連：8/12「紙コップのインスタレーション」、8/26「鉛筆を作ろう」、10/6・12・20「デッサンから彩色まで」、8/11「ふるさとを楽しむWS」他 <p>○美術館運営委員会：2回/年開催</p> <p>[H30決算額] 250千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 聖地巡礼に訪れた観光客等に組紐シーンを疑似体験してもらうコーナーを「さくら物産館」に依頼した。飛騨市ならではの体験メニューとして好評を博し、延べ1,584名が体験した。また、伊賀職人から直接上級者向けの組紐技術を習得し、高度な組紐法を求めるリピーター客にも対応できるよう態勢を整えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年より新たな美術館の運営コンセプトを掲げ、多様な文化芸術を創造するアートセンター（文化芸術センター）を目指し、2年目の運営を終えた。最も力を入れた企画展は、県美術館の移動美術展の位置付けで「細江光洋の世界展」を開催し大好評を博した。これは多くの来館者にコンセプトの中の一番重要なエキシビジョン機能（展示・公開・陳列）を県美術館の指導の下で作品の素晴らしさを最大限に引き出した展示技術によるものと分析しており、今後も県美術館の下で質の高い企画展の開催に努めたいと考えている。 一方、魅力ある企画展を開催する上で施設の老朽化が課題となっていることから、次年度に改修計画案の策定が必要であると考えている。 	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 25)

飛騨市教育委員会・文化振興課

重点 施策	重点 目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
域の歴史や文化財の保護と継承	伝統芸能と伝統文化の継承・文化振興財の調査	<p>【地域歴史資源活用事業】</p> <p>①古川祭研究事業</p> <p>②江馬氏館跡整備活用事業</p> <p>③姉小路氏関連城館群(山城跡)整備活用事業</p> <p>④埋蔵文化財発掘調査等事業</p> <p>⑤糸引き工女史実調査・研究事業</p> <p>上記事業により、自分たちの住む町の歴史的価値を知ってもらい、地域への誇りや愛着心を育む。</p>	文化振興課	<p>①〔H30決算額〕 2,229千円 古川祭の文献等の収集に努め、歴史的背景を調査・研究し、その成果を年度末に「歴史講座」にて発表した。</p> <p>②〔H30決算額〕 2,333千円 専門委員会による指導を受け、国指定史跡・名勝の保存活用計画を策定した。また、山城マップ(江馬氏編)の作成配布やSNSを活用した情報提供に努めた。</p> <p>③〔H30決算額〕 1,692千円 総合調査として、現地踏査・測量調査・文献資料調査等を実施し、得た史実内容の告知及び「山城セミナー」を開催した。</p> <p>④〔H30決算額〕 26,285千円 姉小路氏関連の古川城跡・小島城跡を発掘したところ、礎石や石垣の一部を発見する成果を得た。これについて専門家より、貴重な事例と高い評価を受け、令和4年度の国指定史跡を目指す。</p> <p>⑤〔H30決算額〕 1,163千円 専門調査員を雇用し、明治期の日本の産業近代化の礎として岡谷の製紙産業に貢献した「飛騨の工女」の調査・歴史考証を行った。その成果を「三寺まいり」に合わせ美術館でプレ展覧会を開催した。</p>	<p>・地域歴史資源活用事業を開催したことにより、これまで市民に知られていなかった飛騨市の歴史的価値を市内外に広くPRすることができた。自分たちの町の歴史を学ぶ機会を通して愛着心を育むことに繋がった。特に山城セミナー(歴史講座)には市外からも多くの歴史ファンが来所し、相互交流の機会となったことから、自分の地域に誇りを持つとともに地域活力の創造に繋がった。</p> <p>②江馬氏関連では、現在県史跡の「傘松城跡」を国史跡「江馬氏城館跡」に追加したいと考えている。姉小路氏関連については、更に総合調査を進め、国史跡指定を目指したい。これら各地域にある歴史資源を基に飛騨市らしい個性的な町づくりを進めたいと考えている。</p> <p>⑤糸引き工女については、次年度さらに調査を深め、美術館の企画展の位置付けで開催することを計画している。</p>	A

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 26)

飛騨市教育委員会・文化振興課

重点 施策	重点 目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
心を豊かにする文化芸術の推進	文化や芸能にふれあう機会の提供 文化芸術関係団体の育成と連携	<p>【地域文化振興補助事業】</p> <p>①文化振興補助事業 文化芸術の振興を図るため、文化・芸術活動を行う団体が実施する企画事業に対し、補助金を助成し文化振興を図る。</p> <p>②文化団体補助事業 市民作家の作品発表の場として毎年「市美術展」を開催。感性豊かな作品を一般から募集することで、市内の文化芸術活動を促進し、ひいては市内の文化芸術への機運の向上を図る。</p> <p>③荒垣秀雄氏の顕彰事業 (実行委員会に補助支援)</p> <p>④天の夕顔「中河与一資料室」リニューアル事業 (地元要望を具現化し、地域振興を図る。)</p>	文化振興課	<p>①〔H30決算額〕 21,475千円 市民に優れた文化や芸術に触れ合う機会を提供するため、文化関係団体や市民主体で催される文化活動を支援した。 (大きな事業としては、文化交流センター・船津座の興行イベントが該当) また、郷土愛を育む文化活動の支援と地域文化を支える人材の育成を目的とした文化芸術活動に補助金を支援した。</p> <p>②〔H30決算額〕 4,426千円 市文化協会への活動補助と市美術展開催補助事業が主で、感性豊かで優れた作品を広く一般に募集することで文化芸術への機運の醸成を図った。 出展数：131点、来館者数：619名</p> <p>③〔H30決算額〕 1,337千円 顕彰石碑建立の機会に恵まれたことを契機に功績を後世に語り継ぐ目的で「作文コンテスト」実施した。(作品数：461)</p> <p>④〔H30決算額〕 1,419千円 地元からの場所移転の要望に応え、既存の資料室を山之村牧場内に移設した。リニューアルオープンを記念し、講演会に林正子氏(文学研究者：岐大副学長)を招き、小説：天の夕顔の解説により、舞台のモデルとなった山之村にふるさと郷土愛を育むことができた。</p>	<p>①補助申請されたイベントの中には当該地域の恒例行事となっているものがあり、内容がほぼ前年度のものと同じとなっている事業が見受けられ、結果として来場者の固定化が感じられる。新規来場者が増加または交流人口が広がるよう内容の創意工夫を凝らし、幅広い層の市民が来場することが望ましいと考える。</p> <p>②市内における芸術文化の発展を促進するためには、市文化協会と連携が重要と考えそれぞれの立場で各種事業を実施している。また、市展の開催については市文化協会から委員を選出してもらい委員会を結成し運営を実施している。市民作家には、自身スキルアップに向けて作品発表の場が必要で、市展の開催は市民の文化芸術の振興に大いに寄与していると考えている。</p>	A